

RECORDING DEVICE CREATING DEVICE RECORDING TUNE IN MUSIC CD THROUGH COMMUNICATION, METHOD, AND MEDIUM RECORDING CONTROL PROGRAM OF RECORDING DEVICE CREATING DEVICE RECORDING TUNE IN MUSIC CD THROUGH COMMUNICATION

Publication number: JP10222537 (A)

Publication date: 1998-08-21

Inventor(s): ITO SABURO +

Applicant(s): ITO SABURO +

Classification:

- international: G06F13/00; G06F17/30; G10K15/02; G10K15/04; G11B27/02; G11B27/034; G06F13/00; G06F17/30; G10K15/02; G10K15/04; G11B27/02; G11B27/031; (IPC1-7): G06F13/00; G06F17/30; G10K15/04

- European:

Application number: JP19970063720 19970210

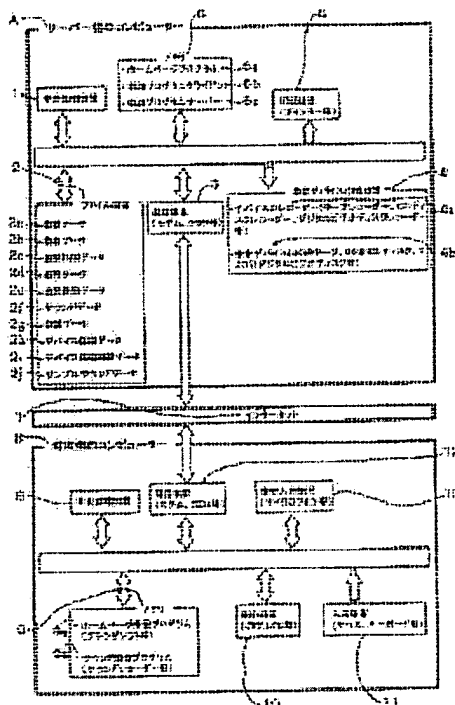
Priority number(s): JP19970063720 19970210

Also published as:

JP3194083 (B2)

Abstract of JP 10222537 (A)

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a device which records without preparing a CD(compact disc) for oneself, also records so that the total performing time of tunes to be recorded may be contained within recordable time of a recording device, also does not need a CD player nor a recorder of the recording device and records desired tunes on the recording device when tunes are selected from a music CD and recorded on a recording device and when there are many CDs on which tunes to be recorded exist.; **SOLUTION:** A computer B of a communication terminal side reads a file 2 that is related to a musical tune that is recorded on a computer A of a communication server side by utilizing a communication means, a tune is freely selected from a list of the file 2 that is related to the tune on a screen of the computer B of the terminal side and written onto the computer A of the server side, the computer A of the server side sends the selected tune to a recording device and a recording device creating device 4 records it.



Data supplied from the **espacenet** database — Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-222537

(43) 公開日 平成10年(1998) 8月21日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

G 0 6 F 17/30

G 0 6 F 15/40

3 1 0 F

13/00

3 5 1

13/00

3 5 1 G

// G 1 0 K 15/04

3 0 2

G 1 0 K 15/04

3 0 2 D

G 0 6 F 15/40

3 7 0 E

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 10 頁)

(21) 出願番号

特願平9-63720

(22) 出願日

平成9年(1997) 2月10日

(71) 出願人 597039434

伊藤 三郎

静岡県磐田市水堀168

(72) 発明者 伊藤 三郎

静岡県磐田市水堀168

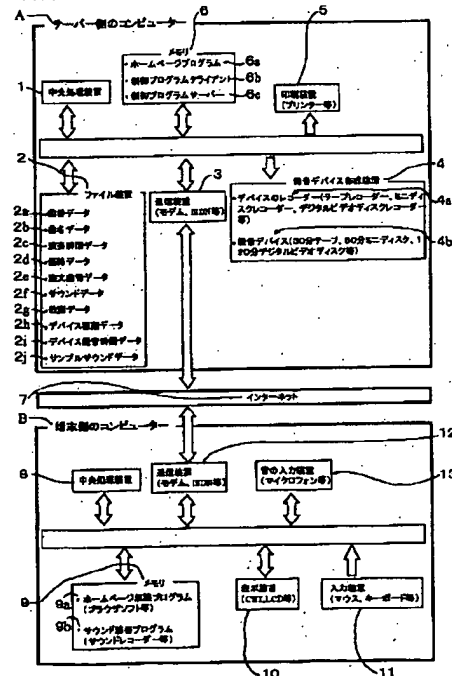
(54) 【発明の名称】 通信により音楽用CD中の曲を録音する録音デバイス作成装置及び方法並びに通信により音楽用CD中の曲を録音する録音デバイス作成装置の制御プログラムを記録した媒体

(57) 【要約】

(修正有)

【課題】 音楽用CD中から曲を選択して録音デバイスに録音するに当たり、録音する曲が納められたCDが多数にわたりある場合、自分でCDを用意せずに録音でき、かつ、録音デバイスの録音可能な時間以内に録音する曲の合計演奏時間が収まるように録音でき、かつ、CDプレーヤーと録音デバイスのレコーダーが不要になり、好きな曲を録音デバイスへ録音する。

【解決手段】 通信手段を利用して、通信の端末側のコンピューターBから通信のサーバー側のコンピューターAに記録されている音楽の曲に係わるファイル2を読み出し、端末側のコンピューターB上の画面で該曲に係わるファイル2の一覧表中から自由に曲を選択しサーバー側のコンピューターAへ書き出し、サーバー側のコンピューターAで該選択した曲を録音デバイスへ録音デバイス作成装置4で録音する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 通信により音楽用CD中の曲を録音する録音デバイス作成装置であって、

(1) あらかじめサーバー側のコンピューターに、音楽用のCD(コンパクトディスクのことで、以下CDと記す)の中の各曲に付けたシリアル番号を記録しておく曲番データ記録手段、

(2) あらかじめサーバー側のコンピューターに、音楽用のCDの中の各曲を音楽のジャンル別にまとめて曲のタイトル名を記録しておく曲名データ記録手段、

(3) あらかじめサーバー側のコンピューターに、音楽用のCDの中の各曲の演奏時間を記録しておく演奏時間データ記録手段、

(4) あらかじめサーバー側のコンピューターに、音楽用のCDの中の各曲の価格を記録しておく価格データ記録手段、

(5) サーバー側のコンピューターに、注文した曲の曲番データを記録する注文曲番データ記録手段、

(6) あらかじめサーバー側のコンピューターに、音楽用のCDの中の各曲のサウンドのデジタル信号を記録しておくサウンドデータ記録手段、

(7) あらかじめサーバー側のコンピューターに、音楽用のCDの中の各曲の歌詞を記録しておく歌詞データ記録手段、

(8) サーバー側のコンピューターに、注文した録音デバイスの種類を記録しておくデバイス種類データ記録手段、

(9) サーバー側のコンピューターに、注文した録音デバイスの録音時間を記録しておくデバイス録音時間データ記録手段、

(10) あらかじめサーバー側のコンピューターに、音楽用のCDの中の各曲の上記サウンドデータを短く編集したサウンドのデジタル信号を記録しておくサンプルサウンドデータ記録手段、

(11) あらかじめサーバー側のコンピューターに、インターネットのホームページのソースプログラムを記録しておくホームページプログラム記録手段、

(12) あらかじめサーバー側のコンピューターに、端末側のコンピューター上にて中央処理装置に種々の制御の指令を出すプログラムを記録しておく制御プログラムクライアント記録手段、

(13) あらかじめサーバー側のコンピューターに、サーバー側のコンピューター上にて中央処理装置に種々の制御の指令を出すプログラムを記録しておく制御プログラムサーバー記録手段、

(14) サーバー側のコンピューターと、インターネットとつなぐ通信手段、

(15) 端末側のコンピューターと、インターネットとつなぐ通信手段、

(16) あらかじめ端末側のコンピューターに、インタ

ーネットのホームページを読み込み解読するプログラム(ブラウザーソフト)を記録しておくホームページ解読プログラム記録手段、

(17) あらかじめ端末側のコンピューターに、サウンドのデータを演奏したり録音するプログラムを記録しておくサウンド演奏プログラム記録手段、

(18) 端末側のコンピューターにて、インターネットのホームページを表示する手段、

(19) 端末側のコンピューターにて、インターネットのホームページ上に表示された項目を選択する入力手段、

(20) インターネットのホームページ上にあらかじめ表示された録音に使うデバイスの種類を選択し、その際デバイス種類データである第1の値とデバイス録音時間データである第2の値を得る手段、

(21) インターネットのホームページ上にあらかじめ表示された曲の検索項目を選択し、その際検索項目を通信装置を通してサーバー側のコンピューターへ書き出し、検索項目名にあてはまる曲名データを探しだし該曲名データに対応する曲番データ、演奏時間データ、価格データ、サンプルサウンドデータ及び曲名データを通信装置を通じて端末側のコンピューターへ読み出し、ホームページ上に検索の結果の一覧表を表示する手段、

(22) インターネットのホームページ上に表示された曲の上記検索の結果の一覧表から注文したい曲を選択し、録音したい順序で曲の曲番データを、メモリに記憶した第3の値を得る手段、

(23) 第3の値に対応する演奏時間データと価格データを随時積算し、トータルの価格の値とトータルの演奏時間である第4の値を得る手段、

(24) 第2の値から第4の値を減算し、録音デバイスに録音できる残り時間である第5の値を得る手段、

(25) 第5の値がゼロ以下になる場合、注文したい曲を新しく追加できなくする手段、

(26) 端末側のコンピューターで音の入力装置を使って音のデータを録音し、その音のデータよりサウンドデータと演奏時間データを作り、曲番データ、曲名データ、価格データ、サンプルサウンドデータの各データに相当値を当てはめ、上記第3の値のデータとして追加するとともに、これらの値を第6の値とする手段、

(27) インターネットのホームページ上に表示された試し聴きの部分を選択し、その際第3の値に対応するサンプルサウンドデータをサウンド演奏プログラムで演奏する手段、

(28) インターネットのホームページ上に表示された、録音デバイスの作成注文の部分を選択し、その際第1の値と第2の値と第3の値及び第6の値を通信装置を通してサーバー側のコンピューターへ書き出す手段、

(29) 上記サーバー側のコンピューターへ書き出された第1の値をデバイス種類データ記録手段へ記録し、第

2の値をデバイス録音時間データ記録手段へ記録し、第3の値を注文曲番データ記録手段へ記録する手段、

(30) デバイス種類データによりデバイスのレコーダーを決定する手段、

(31) デバイス録音時間データとデバイス種類データにより録音デバイスを決定する手段、

(32) 注文曲番データに対応するサウンドデータを決定する手段、

(33) 上記決定したレコーダーを駆動し、上記決定したサウンドデータを、上記決定した録音デバイスへ録音する手段、

(34) 注文曲番データに対応する歌詞データを出力する手段、

(35) 注文曲番データに対応する曲名データを出力する手段、上記(1)から(35)項の構成からなる通信により音楽用CD中の曲を録音する録音デバイス作成装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、通信手段を利用することにより遠隔地の端末側のコンピューターからネットワーク上のサーバー側のコンピューターへアクセスし、そこに記憶された音楽用CDの曲を選択し、その曲をサーバー側のコンピューター上で録音デバイスへ録音するために用いる録音デバイス作成装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、音楽用CD中の曲の中から、個人の好きな曲を集めて1つの録音デバイス(例えばカセットテープやミニディスク等)に録音する場合、CDプレーヤーから録音したい曲を1曲づつ選択し、録音デバイスレコーダー(例えばカセットテープレコーダーやミニディスクレコーダー等)を使い曲を録音デバイスへ録音していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかるに、個人の好きな音楽の曲をCDの中から選択して録音デバイスに録音するに当たり、好きな曲が納められたCDが多数に渡りある場合、1台のCDプレーヤーから録音デバイスレコーダーへ録音していたのでは、いちいちCDをCDプレーヤーから入れ替えて1曲づつ録音しなければならない為、非常に労力と時間がかかってしまう問題があった。加えて、録音デバイスの録音可能な時間以内に、CDから録音したい曲の演奏時間の合計が取まらなければ録音する最後の曲が途中で途切れて録音される問題もあった。加えて、CDプレーヤーと録音デバイスのレコーダーの2つ機構が必要であり、コストがかかってしまう問題もあった。加えて、多数の曲が納められたCDの中の1つの曲しか録音しない場合でも、1枚のCDを購入しなければならず、非常にコストがかかってしまう問題もあった。さらに、音楽用CDを用意するためには、レコ

ードショップもしくは、レンタルショップへ行かなければならないので、労力と時間がかかる問題があった。本発明はこのような問題を解消するためになされたもので、音楽用CD中の曲を録音デバイスへ録音する場合、時間をかけずに、労力をかけずに、しかも、コストを最小限に押さえることを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】この発明に係わる、通信により音楽用CD中の曲を録音する録音デバイス作成装置は、あらかじめサーバー側のコンピューターに、音楽用のCD中の各曲に付けたシリアル番号を記録しておく曲番データ記録手段と、あらかじめサーバー側のコンピューターに、音楽用のCD中の各曲を音楽のジャンル別にまとめて曲のタイトル名を記録しておく曲名データ記録手段と、あらかじめサーバー側のコンピューターに、音楽用のCD中の各曲の演奏時間を記録しておく演奏時間データ記録手段と、あらかじめサーバー側のコンピューターに、音楽用のCD中の各曲の価格を記録しておく価格データ記録手段と、サーバー側のコンピューターに、注文した曲の曲番データを記録する注文曲番データ記録手段と、あらかじめサーバー側のコンピューターに、音楽用のCD中の各曲のサウンドのデジタル信号を記録しておくサウンドデータ記録手段と、あらかじめサーバー側のコンピューターに、音楽用のCD中の各曲の歌詞を記録しておく歌詞データ記録手段と、サーバー側のコンピューターに、注文した録音デバイスの種類を記録しておくデバイス種類データ記録手段と、サーバー側のコンピューターに、注文した録音デバイスの録音時間を記録しておくデバイス録音時間データ記録手段と、あらかじめサーバー側のコンピューターに、音楽用のCD中の各曲の上記サウンドデータを短く編集したサウンドのデジタル信号を記録しておくサンプルサウンドデータ記録手段と、あらかじめサーバー側のコンピューターに、インターネットのホームページのソースプログラムを記録しておくホームページプログラム記録手段と、あらかじめサーバー側のコンピューターに、端末側のコンピューター上にて中央処理装置に種々の制御の指令を出すプログラムを記録しておく制御プログラムクライアント記録手段と、あらかじめサーバー側のコンピューターに、サーバー側のコンピューター上にて中央処理装置に種々の制御の指令を出すプログラムを記録しておく制御プログラムサーバー記録手段と、サーバー側のコンピューターと、インターネットとつなぐ通信手段と、端末側のコンピューターと、インターネットとつなぐ通信手段と、あらかじめ端末側のコンピューターに、インターネットのホームページを読み込み解読するプログラムを記録しておくホームページ解読プログラム記録手段と、あらかじめ端末側のコンピューターに、サウンドのデータを演奏したり録音するプログラムを記録しておくサウンド演奏プログラム記録手段と、端末側のコン

ピューターにて、インターネットのホームページを表示する手段と、端末側のコンピューターにて、インターネットのホームページ上に表示された項目を選択する入力手段と、インターネットのホームページ上にあらかじめ表示された録音に使うデバイスの種類を選択し、その際デバイス種類データである第1の値とデバイス録音時間データである第2の値を得る手段と、インターネットのホームページ上にあらかじめ表示された曲の検索項目を選択し、その際検索項目を通信装置を通してサーバー側のコンピューターへ書き出し、検索項目名にあてはまる曲名データを探しだし該曲名データに対応する曲番データ、演奏時間データ、価格データ、サンプルサウンドデータ及び曲名データを通信装置を通じて端末側のコンピューターへ読み出しホームページ上に検索結果の一覧表を表示する手段と、インターネットのホームページ上に表示された曲の上記検索の結果の一覧表から注文したい曲を選択し、録音したい順序で曲の曲番データを、メモリに記憶した第3の値を得る手段と、第3の値に対応する演奏時間データと価格データを随時積算し、トータルの価格の値とトータルの演奏時間である第4の値を得る手段と、第2の値から第4の値を減算し、録音デバイスに録音できる残り時間である第5の値を得る手段と、第5の値がゼロ以下になる場合、注文したい曲を新しく追加できなくする手段と、端末側のコンピューターで音の入力装置を使って音のデータを録音し、その音のデータよりサウンドデータと演奏時間データを作り、曲番データ、曲名データ、価格データ、サンプルサウンドデータの各データに適当値を当てはめ、上記第3の値のデータとして追加するとともに、これらの値を第6の値とする手段と、インターネットのホームページ上に表示された試し聴きの部分を選択し、その際第3の値に対応するサンプルサウンドデータをサウンド演奏プログラムで演奏する手段と、インターネットのホームページ上に表示された、録音デバイスの作成注文の部分を選択し、その際第1の値と第2の値と第3の値及び第6の値を通信装置を通してサーバー側のコンピューターへ書き出す手段と、上記サーバー側のコンピューターへ書き出された第1の値をデバイス種類データ記録手段へ記録し、第2の値をデバイス録音時間データ記録手段へ記録し、第3の値を注文曲番データ記録手段へ記録する手段と、デバイス種類データによりデバイスのレコーダーを決定する手段と、デバイス録音時間データとデバイス種類データにより録音デバイスを決定する手段と、注文曲番データに対応するサウンドデータを決定する手段と、上記決定したレコーダーを駆動し、上記決定したサウンドデータを、上記決定した録音デバイスへ録音する手段と、注文曲番データに対応する歌詞データを出力する手段と、注文曲番データに対応する曲名データを出力する手段、とからなる。

【0005】

【作用】この発明によれば、通信により音楽用CD中の曲を録音する録音デバイス作成装置を使用するには、次のようにする。はじめにユーザーは、端末側のコンピューターのインターネットのホームページ解読プログラムを起動し、端末側のコンピューターの通信手段からインターネットに接続し、サーバー側のコンピューターの通信手段を通じてサーバー側のコンピューターへアクセスする、そして、ホームページプログラムと制御プログラムクライアントとを端末側のコンピューターへ読み出す、そして端末側のコンピューターのホームページを表示する手段にホームページを表示する、つづいて、ホームページ上に表示された項目を選択する入力手段を使って、ホームページ上にあらかじめ表示されたデバイスの種類を選択する、その際、制御プログラムクライアントの指令により、デバイス種類データである第1の値とデバイス録音時間データである第2の値を得る。上記構成によれば、録音デバイスが選択されたことで、制御プログラムクライアントの指令により、録音デバイスの情報（例えば60分カセットテープ）の内2つの情報（60分とカセットテープ）を分ける、つまり、カセットテープなどのようなデバイスの種類と、60分などのようなデバイスの録音時間を決定することが出来る。つぎに、ホームページ上に表示された項目を選択する入力手段を使って、ホームページ上にあらかじめ表示された曲のジャンル名や曲名などの検索項目を選択し、その際、制御プログラムクライアントの指令により、検索項目を通信装置を通してサーバー側のコンピューターへ書き出し、つづいて、制御プログラムサーバーの指令により、検索項目名にあてはまる曲名データを探しだし該曲名データに対応する曲番データ、演奏時間データ、価格データ、サンプルサウンドデータ及び曲名データを通信装置を通じて端末側のコンピューターへ読み出し、ホームページ上に検索結果の一覧表を表示する。上記構成によれば、ユーザーが欲しい曲をジャンル名や曲名をキーワードにして検索し、欲しい曲を素早く探すことが出来る。つぎに、ホームページ上に表示された項目を選択する入力手段を使って、ホームページ上の曲の検索結果の一覧表から注文したい曲を選択し、その際、制御プログラムクライアントの指令により、曲が選択されるたびにその曲の曲番データを録音したい順序、つまり録音デバイスに録音したい順番でメモリに記憶し、第3の値を得る、つづいて、第3の値に対応する演奏時間データと価格データを曲が選択されるたびに随時積算し、曲のトータルの価格の値及び、曲のトータルの演奏時間である第4の値を得る、つづいて、ホームページ上にトータルの価格とトータルの演奏時間を表示する、つづいて、第2の値から第4の値を減算し、録音デバイスに録音できる残り時間である第5の値を得る、そして、ホームページ上に録音できる残り時間を表示する、つづいて、第5の値がゼロ以下になる場合、注文したい曲を新しく追加できなくす

る。上記構成によれば、ユーザーの欲しい曲が決定するとともに、録音デバイスに曲を録音する順序が決定し、かつ、ユーザーが曲を選択した時点でのトータルの価格とトータルの演奏時間並びに録音できる残り時間を決定する、また、自動的に録音デバイスの録音可能な時間以内に、曲のトータルの演奏時間が収まるようにするので、録音する最後の曲が途中で途切れて録音されない。また、ホームページプログラムの指令を受け、ホームページ上にあらかじめ表示された、自分の音を録音、の部分を選択した場合には、制御プログラムクライアントの指令により、サウンド演奏プログラムを起動し、ここでユーザーが自由に音を、音の入力装置を使って録音すると、その音の録音時間を算出し、つづいて録音した音のデータの保存を実行すると、この音のデータが注文したい曲のデータの1つとして上記第3の値に追加される、この際には、制御プログラムクライアントの指令により、この音の曲番データを0番とし、曲名データを“メッセージ”とし、演奏時間データをここで算出した録音時間とし、価格データを100円（適当な金額）とし、サウンドデータをここで録音した音のデータとし、歌詞データを0（無し）とし、サンプルサウンドデータをここで録音した音のデータとして、これらのデータを第6の値としてメモリへ記憶する。上記構成によれば、ユーザーが自分の作った音を録音したい曲の項目へ追加できる。つぎに、ホームページ上に表示された項目を選択する入力手段を使って、ホームページ上にあらかじめ表示された試し聴きの部分を選択し、その際、制御プログラムクライアントの指令により、第3の値に対応するサンプルサウンドデータをサウンド演奏プログラムで演奏する。上記構成によれば、ユーザーは、自分の選んだ曲に間違いがないかチェックでき、かつ、曲が好きな順序でアレンジされて録音されるかチェックできる。つぎに、ホームページ上に表示された項目を選択する入力手段を使って、ホームページ上にあらかじめ表示された録音デバイスの作成注文の部分を選択し、その際、制御プログラムクライアントの指令により、第1の値と第2の値と第3の値を通信装置を通してサーバー側のコンピューターへ書き出す、また、第6の値がある場合は、第6の値も書き出す、つづいて、書き出された第1の値をデバイス種類データ記録手段へ記録し、第2の値をデバイス録音時間データ記録手段へ記録し、第3の値を注文曲番データ記録手段へ記録する。上記構成によれば、ユーザーが録音を希望する録音デバイスの情報と注文したい曲の曲番データの情報がサーバー側のコンピューターで認識されたことになる。つぎにサーバー側のコンピューターで制御プログラムサーバーの指令により、デバイス種類データによりデバイスのレコーダー（録音装置）を決定する、つづいて、デバイス録音時間データとデバイス種類データにより録音デバイスを決定する、つづいて、注文曲番データに対応するサウンドデータを決

定する、つづいて、上記決定したレコーダーを駆動し、上記決定したサウンドデータを、上記決定した録音デバイスへ録音する。上記構成によれば、ユーザーが録音を希望する録音デバイスに、そのデバイス用のレコーダーを使って、注文したい曲のサウンドが注文どおりの順序で録音される、そして、サーバー側のコンピューターでこの作業が行われるので、ユーザーは録音の作業がいらず労力がかからない。つぎに制御プログラムサーバーの指令により、注文曲番データに対応する歌詞データを印刷装置へ出力する。上記構成によれば、歌詞データを印刷装置へ出力することで、ユーザーが注文した曲の歌詞が注文どおりの順序で歌詞カードを作成することができる。つぎに制御プログラムサーバーの指令により、注文曲番データに対応する曲名データを出力する。上記構成によれば、音楽用のCDの場合は、無断で録音して販売すると、著作権の侵害となるので、ユーザーが注文した曲のデータを出力し、何の曲を販売したのか把握することで、各曲の権利所有者へ販売した曲の使用料を支払うことができる。

【0006】

【実施例】以下、本発明の実施例を図1ないし図2によって詳細に説明する。図1は、本発明に係る通信により音楽用CD中の曲を録音する録音デバイス作成装置のシステム構成図、図2は、通信により音楽用CD中の曲を録音する録音デバイス作成装置へ制御を行うために、端末側のコンピューター上に表示される表示画面の例を示す図である。図1において、Aはインターネットに接続されたサーバーのコンピューターで、Bはインターネットの端末のコンピューターである。サーバーのコンピューターAのファイル装置2には、あらかじめ多数の音楽用CDのデータを音楽のジャンル別にして記憶されており、それは、CD中の各曲に付けたのシリアル番号である曲番データ2a、各曲のタイトルである曲名データ2b、各曲の演奏時間である演奏時間データ2c、各曲の価格である価格データ2d、各曲のサウンドのデジタル信号であるサウンドデータ2f、各曲の歌詞である歌詞データ2g、各曲の上記サウンドデータ2fを短く編集したサウンドのデジタル信号であるサンプルサウンドデータ2jが記憶されている、ここで曲番データ2aは、曲名データ2b、演奏時間データ2c、価格データ2d、サウンドデータ2f、歌詞データ2g、サンプルサウンドデータ2jの各データに1対1で関連付け（リンク）されている。ユーザーはインターネット端末のコンピューターBでメモリ9にあらかじめ記憶されたホームページ解読プログラム9a（ブラウザソフトなど）を入力装置11（マウス、キーボードなど）を使って立ち上げ、通信装置12を通してインターネット7に接続し、サーバーのコンピューターAへアクセスする、サーバーのコンピューターAでメモリ6にあらかじめ記憶されたホームページのソースプログラムを記述したホーム

ページプログラム6a(HTML形式の言語など)と制御プログラムクライアント6b(ブラウザソフトで実行されるJAVA言語のバイトコードなど)を通信装置3を通して、ユーザーのインターネット端末のコンピュータBのメモリ9へ読み出す(ダウンロードする)、そしてユーザーの表示装置10(CRTなど)へホームページを出力(図2に表示例を示す)する。ホームページプログラム6aの指令を受け、ホームページ上にはあらかじめデバイスの種類14の選択画面が表示され、ユーザーは、このデバイスの種類14の中から録音にしたいデバイスをマウスなどの入力装置11を使って選択(クリック)する、このときに中央処理装置8は、メモリ9中の制御プログラムクライアント6bの指令を受け、選択されたデバイスの種類14から2つの情報に分け、1つはデバイスの形態を表すデバイス種類データ(カセットテープ、ミニディスクなど)を決定し第1の値とし、2つ目はデバイスの録音可能な時間を表すデバイス録音時間データ(30分、60分、120分など)を決定し第2の値とする、この2つのデータがメモリ9に記憶される。次にユーザーは、デバイスに録音したい曲(好きな曲)を検索するために、ホームページプログラム6aの指令を受け、ホームページ上にあらかじめ表示された検索用画面15のジャンル別のジャンル名15a又は曲名別の頭文字15bをマウスなどの入力装置11を使って選択(クリック)する、ここで中央処理装置8は、メモリ9中の制御プログラムクライアント6bの指令を受け、選択されたジャンル名15a又は頭文字15bを通信装置12を通してサーバーのコンピュータAのメモリ6へ書き出され記憶される、つぎに中央処理装置11は、メモリ6中にあらかじめ記憶されている制御プログラムサーバー6cの指令を受け、サーバーのファイル装置2の中から、上記メモリ6に記憶されたジャンル名15a又は頭文字15bにあてはまる曲名データ2bを検索し、検索した曲名データ2bに対応する曲番データ2a、演奏時間データ2c、価格データ2d、サンプルサウンドデータ2j及び曲名データ2bを、通信装置3を通してユーザーのインターネット端末のコンピュータBのメモリ9に読み出され記憶され、つづいて中央処理装置8は、メモリ9中の制御プログラムクライアント6bの指令を受け、ユーザーの表示装置10に表示されているホームページ上にその検索結果を検索結果一覧表16として表示させる。次にユーザーは、この表示された検索結果一覧表16の中から注文したい曲をランダムに選んで、曲番データの表示16a部分をマウスなどの入力装置11を使って選択し、あらかじめホームページ上に表示された注文したい曲を入れるエリア17の好きな行へ移動(例えばドラッグ)する、このとき中央処理装置8は、メモリ9中の制御プログラムクライアント6bの指令を受け、移動するたびに曲番データの表示16aとそれに対応する曲名データの表示16b、演奏

時間データの表示16c、価格データの表示16dが注文したい曲を入れるエリア17の移動先の行に新しく表示(曲番17a、曲名17b、演奏時間17c、価格17d)される、また、同時に中央処理装置8は、メモリ9中の制御プログラムクライアント6bの指令を受け、ここで選ばれた曲番データの表示17aに対応する曲番データ2aを注文したい曲を入れるエリア17の行の順番17eでメモリ9へ記憶し、この値を第3の値とする。また中央処理装置8は、メモリ9中の制御プログラムクライアント6bの指令を受け、この第3の値に対応する演奏時間データ2cと価格データ2dを随時積算し、トータルの演奏時間17fとトータルの価格17gを得て表示装置10のホームページ上へ表示する、そしてトータルの演奏時間17fのデータをメモリ9へ記憶する、この値を第4の値とする。中央処理装置8は、メモリ9中の制御プログラムクライアント6bの指令を受け、第2の値から第4の値を減算してデバイスに記録できる残り時間を決定する、この値を第5の値とする。中央処理装置8は、メモリ9中の制御プログラムクライアント6bの指令を受け、この第5の値を表示装置10のホームページ上に残り時間表示18し、また、この第5値がゼロ以下になる場合は録音デバイスが録音できる時間がオーバーしたことを意味するので、ゼロ以下になった時点で、注文したい曲を入れるエリア17への新しい曲番データの表示17aを禁止するとともに曲番データ2aのメモリ9への記憶を禁止する。また、ホームページプログラム6aの指令を受け、ホームページ上にあらかじめ表示された、自分の音を録音の部分19を選択した場合には、制御プログラムクライアント6bの指令により、サウンド演奏プログラム9b(サウンドレコーダーなど)を起動し、ここでユーザーが自由に音を、音の入力装置13(マイク)を使って録音すると、その音の録音時間を算出し、つづいて録音した音のデータの保存を実行すると、この音のデータが注文したい曲のデータの1つとして上記第3の値に追加される、この際には、制御プログラムクライアント6bの指令により、この音の曲番データ2aを0番とし、曲名データ2bを“メッセージ”とし、演奏時間データ2cをここで算出した録音時間とし、価格データ2dを100円(適当な金額)とし、サウンドデータ2fをここで録音した音のデータとし、歌詞データ2gを0(無し)とし、サンプルサウンドデータ2jをここで録音した音のデータとして、これらの値を第6の値としてメモリ9へ記憶する。次にユーザーは、ホームページプログラム6aの指令を受け、ホームページ上にあらかじめ表示された試し聴きの部分20をマウスなどの入力装置11で選択すると、中央処理装置8は、メモリ9中の制御プログラムクライアント6bの指令を受け、インターネット端末のコンピュータBのメモリ9にあらかじめ記憶されたサウンドデータを演奏するプログラムであるサウンド演奏プ

ログラム9b(サウンドレコーダーなど)を起動し、メモリ9中に記憶されている第3の値に対応するサンプルサウンドデータ2jを演奏し、選曲した曲の試し聴きをする事ができる。注文したい曲の選択が終了したら、ホームページプログラム6aの指令を受け、ホームページ上にあらかじめ表示された録音デバイスの作成注文の部分21をマウスなどの入力装置11で選択して注文を行う、このとき中央処理装置8は、メモリ9中の制御プログラムクライアント6bの指令を受け、メモリ9に記憶された第3の値を、注文する曲番データとして通信装置12を通してサーバーのファイル装置2の注文曲番データ2eの記憶領域へ書き出し記憶する、そして第6の値が有る場合は第6の値も書き出し記憶する。また同時にメモリ9に記憶されている第1の値と第2の値のそれぞれが、通信装置12を通してサーバーのファイル装置2のデバイス種類データ2hの記憶領域とデバイス録音時間データ21の記憶領域へ書き出され記憶される。つづいてサーバーのコンピュータAの中央処理装置1は、メモリ6中の制御プログラムサーバー6cの指令を受け、ファイル装置2中のデバイス種類データ2hを元に録音デバイス作成装置4中のレコーダー4a(テープレコーダーやミニディスクレコーダーやデジタルビデオディスクレコーダーなど)を決定し、同じくファイル装置2中のデバイス録音時間データ21とデバイス種類データ2hを元に録音デバイス4b(30分テープや60分ミニディスクや120分デジタルビデオディスクなど)を決定する、つづいて、中央処理装置1は、メモリ6中の制御プログラムサーバー6cの指令を受け、ファイル装置2の注文曲番データ2eに対応するサウンドデータ2fを、録音デバイス作成装置4中の上記決定したレコーダー4aへ出力し、レコーダー4aを駆動し、上記決定した録音デバイス4bへ録音する。つづいて中央処理装置1は、メモリ6中の制御プログラムサーバー6cの指令を受け、注文曲番データ2eに対応する歌詞データ2gをファイル装置2から、印刷装置5(プリンターなど)へ出力する、これにより歌詞カードを印刷する。つづいて中央処理装置1は、メモリ6中の制御プログラムサーバー6cの指令を受け、注文曲番データ2eに対応する価格データ2dの合計を算出し、印刷装置5(プリンターなど)へ出力し請求書を作成する、そして、この請求書と注文の曲の録音済み録音デバイス4bをユーザーへ送付する。また、定期的に、中央処理装置1は、メモリ6中の制御プログラムサーバー6cの指令を受け、注文曲番データ2eに対応する曲名データを印刷装置5へ出力したり、通信装置3へ出力して曲の権利者へデータを送る、これにより曲の権利者への著作権料の支払いに利用する。また、上記の実施例において、通信により音楽用CD中の曲を録音する録音デバイス作成装置の通信手段は、インターネットを通じて行う例をのべたが、同様に、通信により音楽用CD中の曲を録音する録音デバイ

ス作成装置で録音する方法として、ローカルエリア内のみで、サーバー側のコンピュータとローカルエリアネットワーク(LAN)を通じて端末のコンピュータと通信して実施する事もできる。

【0007】

【発明の効果】以上説明したように通信により音楽用CD中の曲を録音する録音デバイス作成装置は、ホームページ上に表示された項目を選択する入力手段を使って、ホームページ上の曲のジャンル名や曲名などの検索項目を選択し、サーバー側のコンピュータから検索項目にあてはまる曲名データ、演奏時間データ、価格データ、サンプルサウンドデータ及び曲番データを通信装置を通じて端末側のコンピュータへ読み出し、ホームページ上に検索結果の一覧表を表示するので、ユーザーは、端末側のコンピュータの前にいながら、サーバー側のコンピュータに記憶されている膨大なCDの曲の情報の中から欲しい曲のジャンル名や曲名をキーワードにして一覧表を表示するので、目的の曲を素早く探し出すことが出来る。つぎに、ホームページ上に表示された項目を選択する入力手段を使って、ホームページ上の曲の検索結果の一覧表から注文したい曲を選択し、曲が選択されるたびに録音デバイスに録音したい曲の順番でメモリに記憶し、つづいて、曲が選択されるたびに演奏時間データと価格データを随時積算し、曲のトータルの価格及び、曲のトータルの演奏時間を得て、つづいて、デバイス録音時間データから曲のトータルの演奏時間を減算し、録音デバイスに録音できる残り時間を得て、つづいて、録音できる残り時間がゼロ以下になった時点で、制御プログラムクライアントの指令により、注文したい曲を新しく追加できなくするので、ユーザーが欲しい曲を選択するたびに、録音デバイスに曲を録音する順序が決定し、かつ、そのときの曲のトータルの価格とトータルの演奏時間が決定し、かつ、録音デバイスの録音可能な時間以内に、曲のトータルの演奏時間が収まるようにするので、録音する最後の曲が途中で途切れて録音される問題がない、また、ユーザーが欲しい曲が納められたCDが多数に渡りある場合でも、画面上の曲の一覧表から曲を選択するだけなので、非常に早く抽出できる。また、ホームページプログラムの指令を受け、ホームページ上にあらかじめ表示された、自分の音を録音、の部分を選択した場合には、制御プログラムクライアントの指令により、サウンド演奏プログラムを起動し、ここでユーザーが自由に音を、音の入力装置を使って録音すると、その音の録音時間を算出し、つづいて録音した音のデータの保存を実行すると、この音のデータが注文したい曲のデータの1つとして上記第3の値に追加される、この際には、制御プログラムクライアントの指令により、この音の曲番データを0番とし、曲名データを“メッセージ”とし、演奏時間データをここで算出した録音時間とし、価格データを100円(適当な金額)とし、サウ

ンドデータをここで録音した音のデータとし、歌詞データを0(無し)とし、サンプルサウンドデータをここで録音した音のデータとして、第6の値を得てメモリに記憶するので、ユーザーが自分の作った音を録音デバイスへ録音したい項目に追加でき、他の人への贈答用のメッセージを吹き込んだり、自分の曲を入れたオリジナルの録音デバイスが作成可能になる。つぎに、ホームページ上に表示された項目を選択する入力手段を使って、ホームページ上に表示された試し聴きの部分を選択し、サンプルサウンドデータをサウンド演奏プログラムで演奏することで、ユーザーは、自分の選んだ曲に間違いがないかチェックでき、かつ、CDの曲が好きな順序でアレンジされているかがわかる。つぎに、ホームページ上に表示された項目を選択する入力手段を使って、ホームページ上の録音デバイスの作成注文の部分を選択した場合、サーバー側のコンピューターへデバイス種類データをデバイス種類データ記録手段へ記録し、デバイス録音時間データをデバイス録音時間データ記録手段へ記録し、注文曲番データを注文曲番データ記録手段へ記録し、また、自分の音を録音していた場合はそのデータも記憶する。よって、ユーザーが録音を希望する録音デバイスの情報と注文したい曲の曲番データの情報がサーバー側のコンピューターで認識できる。つぎにサーバー側のコンピューターで制御プログラムサーバーの指令により、デバイス種類データからデバイスのレコーダーを決定し、つづいて、デバイス録音時間データとデバイス種類データから録音デバイスを決定し、つづいて、注文曲番データに対応するサウンドデータを決定し、つづいて、上記決定したレコーダーを駆動し、上記決定したサウンドデータを、上記決定した録音デバイスへ録音することで、ユーザーが録音を希望する録音デバイスに注文したい曲のサウンドが注文どおりの順序で録音される、そして、従来のように、ユーザーの好きな曲が納められたCDが、多数に渡りある場合でも、いちいちCDをCDプレーヤーから入れ替えて録音デバイスへ録音していたことが必要なく、労力がかからない、さらに、ユーザーは、

1枚のCDも購入することなく希望する曲を録音デバイスへ録音できるので、非常にコストが安くなる、さらに、ユーザーは、曲を聞くための録音デバイスのプレーヤーのみを持っていればよく、CDプレーヤーや録音デバイスのレコーダーが必要ないため、コストがかからない、さらに、ユーザーは、レコードショップもしくは、レンタルショップへ行く必要がないので、労力と時間がかからない。つぎに制御プログラムサーバーの指令により、注文曲番データに対応する歌詞データを印刷装置へ出力することで、ユーザーが注文した曲の歌詞カードが注文どおりの順序で作成できるので、従来のようにCDから1曲づつ歌詞カードをコピーする必要がないので、労力がかからない。つぎに制御プログラムサーバーの指令により、注文曲番データに対応する曲名データを出力することで、何の曲を販売したのか把握することができ、各曲の権利所有者へ販売した曲の使用料を支払うことができ、著作権の侵害にならない。

【図面の簡単な説明】

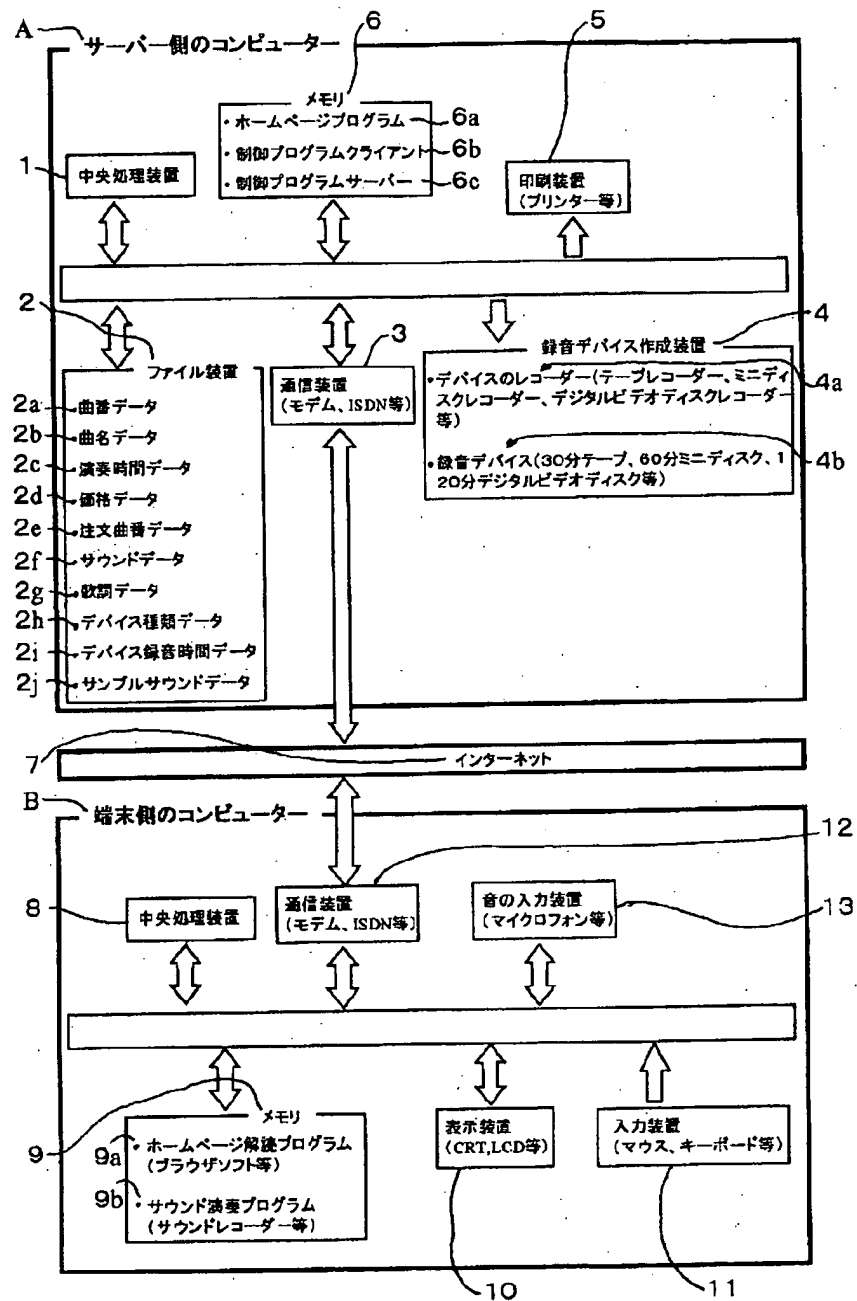
【図1】 本発明に係わる通信により音楽用CD中の曲を録音する録音デバイス作成装置のシステム構成図である。

【図2】 本発明に係わる通信により音楽用CD中の曲を録音する録音デバイス作成装置へ制御を行うために、端末側のコンピューター上に表示される表示画面の例を示す図である。

【符号の説明】

1…中央処理装置、2…ファイル装置、3…通信装置、4…録音デバイス作成装置、5…印刷装置、6…メモリ、7…インターネット、8…中央処理装置、9…メモリ、10…表示装置、11…入力装置、12…通信装置、13…音の入力装置、14…デバイスの種類、15…検索用画面、16…検索結果一覧表、17…注文したい曲を入れるエリア、18…残り時間表示、19…自分の音を録音の部分、20…試し聴きの部分、21…録音デバイスの作成注文の部分、

【図1】



【図2】

14 下の中から録音したいデバイス名をクリックしてください。

[カセットテープ 120分]	[カセットテープ 80分]	[カセットテープ 30分]
[ミニディスク 120分]	[ミニディスク 60分]	[ミニディスク 30分]
[DVD 120分]	[DVD 60分]	[DVD 30分]

15 下の中からジャンル名、又は曲名の頭文字をクリックしてください。

15a ジャンル別

- [ポップス]
- [演歌]
- [パンク] [ラップ]
- [レゲエ] [ロック]
- [その他]

15b 曲名別

[あ][い][う][え][お][か][き][く][け][こ][さ][し][す][せ][そ]
 [た][ち][つ][て][と][な][に][ぬ][ね][の][は][ひ][ふ][へ][ほ]
 [ま][み][む][め][も][や][ゆ][よ][ら][り][る][れ][ろ]
 [わ][を][ん][しゃ][しゅ][しょ][]
 [A][B][C][D][E][F][G][H][I][J][K][L][M][N]
 [O][P][Q][R][S][T][U][V][W][X][Y][Z]

下の曲番から好きな曲番を選択して右の空欄へドラッグしてください。

16

16a 16b 16c 16d

<ポップス>			
曲番	曲名	演奏時間	価格
101	海	5分30秒	¥200
201	クリスマス	4分30秒	¥200
230	さよなら	3分30秒	¥200
301	あかとんぼ	4分30秒	¥200
<演歌>			
401	男 酒	5分30秒	¥200
451	舟 歌	6分30秒	¥200

17e 17a 17b 17c 17d

順番	曲番	曲名	演奏時間	価格
1	301	あかとんぼ	4分30秒	¥200
2	201	クリスマス	4分30秒	¥200
3	230	さよなら	3分30秒	¥200
4	451	舟 歌	6分30秒	¥200
5	0	メッセージ	3分20秒	¥100
合 計			22分20秒	¥900

17

18 録音デバイス:カセットテープ30分 残り記録時間:7分40秒

自分の音を録音デバイスへ録音したい場合は 自分の音を録音 をクリックしてください。

19 注文した曲を試し聴きたい場合は 試し聴き をクリックしてください。

20 選曲が終わったら下の 録音デバイスの作成注文 をクリックしてください。

21 録音デバイスの作成注文